

環境衛生管理業務 委託業務処理要領

この要領は、業務の大要を示すものであり、本書に記載されていない事項であっても現場の状況に応じ受託者が必要と認めた業務、若しくは北海道立近代美術館（以下「館」という。）が管理上必要と認めた業務は委託料の範囲内で実施するものとする。

1 使用機器

作業に使用する機器類は、厚生労働省の認定によるものを使用すること。

2 資格者

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（以下「ビル管理法」という。）第7条による資格者を選任し、「ビル管理法」及び「労働安全衛生法」に定められた測定をし、室内環境衛生の適正化に努めるものとする

3 業務内容

選任者は、館内清掃及び館内設備関係を把握し、随時館内の巡視を行い、適正化に努めること。

(1) 空気環境測定

厚生労働省の定めにより次のとおり行うこと。

ア 測定箇所

次の20箇所とする。

- 1階 展示室A（南東側、北東側、北西側、南西側）、展示室B（北西側、北東側、南東側、南西側）、ホール、
- 2階 展示室A（北側、中側、南側）、ロビー、食堂、幼児室前、中央廊下
- 3階 研究室、事務室、副館長室、館長室

イ 測定項目

温 度	湿 度	二酸化炭素
一酸化炭素	浮遊粉塵	風 速

(2) ネズミ・昆虫の駆除

(3) 水質検査

ア 飲料水・給湯水・冷却塔補給水

a 「ビル管理法」に定める「省略不可11項目＋金属等5項目」

項 目	飲 料 水	給 湯 水	冷 却 塔 補 給 水
	年間回数	年間回数	年間回数
1 一般細菌	2	2	2
2 大腸細菌	2	2	2
3 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	2	2	2
4 塩素イオン	2	2	2
5 有機物等（全有機炭素（TOC）の量）	2	2	2
6 PH値	2	2	2
7 味	2	2	2
8 臭気	2	2	2
9 色度	2	2	2
10 濁度	2	2	2
11 鉛及びその化合物	2	2	2

12	亜鉛及びその化合物	2	2	2
13	鉄及びその化合物	2	2	2
14	銅及びその化合物	2	2	2
15	蒸発残留物	2	2	2
16	亜硝酸態窒素	2	2	2

b 「ビル管理法」に定める「消毒副成物 12 項目」

項 目	飲 料 水	給 湯 水	冷却塔補給水
	年間回数	年間回数	年間回数
1 シアン化物イオン及び塩化シアン	1	1	1
2 クロロ酢酸	1	1	1
3 クロロホルム	1	1	1
4 ジクロロ酢酸	1	1	1
5 ジブロモクロロメタン	1	1	1
6 臭素酸	1	1	1
7 総トリハロメタン	1	1	1
8 トリクロロ酢酸	1	1	1
9 プロモジクロメタン	1	1	1
10 プロモホルム	1	1	1
11 ホルムアルデヒド	1	1	1
12 塩素酸	1	1	1

イ 雑用水（池用水、清掃用水、水洗トイレ用水）水質検査

項 目	年間回数
1 大腸菌	6
2 濁度	6

4 測定の実施等

- (1) 空気環境測定は、年 6 回（4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月）実施するとする。
- (2) 飲料水水質検査は、「ビル管理法」に定める「省略不可 11 項目＋金属等 5 項目」の水質検査は、4 月、10 月、同じく「消毒副成物 12 項目」の水質検査は、8 月に実施するものとする。
- (3) 雑用水水質検査は、4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月に実施するとする。
- (4) ねずみ・昆虫の防除は、年 2 回（4 月、10 月）実施するものとする。

5 報 告

測定及び監査等実施後は、速やかに報告書を館に提出すること。